

議 事 日 程 第 1 号

令和5年2月24日（金）午前10時開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 会期の決定
- 日程第 3 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 日程第 4 令和5年度市政運営方針の説明
- 日程第 5 議第 1号 置賜広域行政事務組合規約の一部変更について
- 日程第 6 議第 2号 米沢市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- 日程第 7 議第 3号 米沢市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について
- 日程第 8 議第 4号 米沢市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について
- 日程第 9 議第 5号 米沢市平日夜間・休日診療所の設置及び管理に関する条例の廃止について
- 日程第10 議第 6号 米沢市手数料条例の一部改正について
- 日程第11 議第 7号 米沢市国民健康保険条例の一部改正について
- 日程第12 議第 8号 米沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第13 議第 9号 米沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第14 議第10号 米沢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第15 議第11号 米沢市高齢者等生活支援条例の一部改正について
- 日程第16 議第12号 米沢市避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例の設定について
- 日程第17 議第13号 市道中山街道線上屋敷橋撤去に伴う仮設工事請負契約の一部変更について
- 日程第18 議第14号 令和4年度米沢市一般会計補正予算（第10号）
- 日程第19 議第15号 令和4年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）
- 日程第20 議第16号 令和4年度米沢市後期高齢者医療費特別会計補正予算（第2号）
- 日程第21 議第17号 令和4年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）
- 日程第22 議第18号 令和4年度米沢市青果物地方卸売市場費特別会計補正予算（第1号）
- 日程第23 議第19号 令和4年度米沢市水道事業会計補正予算（第2号）
- 日程第24 議第20号 令和4年度米沢市下水道事業会計補正予算（第1号）
- 日程第25 議第21号 令和4年度米沢市立病院事業会計補正予算（第2号）

- 日程第26 議第22号 令和5年度米沢市一般会計予算
 日程第27 議第23号 令和5年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計予算
 日程第28 議第24号 令和5年度米沢市後期高齢者医療費特別会計予算
 日程第29 議第25号 令和5年度米沢市介護保険事業勘定特別会計予算
 日程第30 議第26号 令和5年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計予算
 日程第31 議第27号 令和5年度米沢市青果物地方卸売市場費特別会計予算
 日程第32 議第28号 令和5年度米沢市物品調達費特別会計予算
 日程第33 議第29号 令和5年度米沢市南原財産区費特別会計予算
 日程第34 議第30号 令和5年度米沢市三沢東部財産区費特別会計予算
 日程第35 議第31号 令和5年度米沢市水道事業会計予算
 日程第36 議第32号 令和5年度米沢市下水道事業会計予算
 日程第37 議第33号 令和5年度米沢市立病院事業会計予算

~~~~~

### 本日の会議に付した事件

議事日程第1号と同じ

~~~~~

出欠議員氏名

出席議員（22名）

1番	鳥	海	隆	太	議員	2番	成	澤	和	音	議員	
3番	齋	藤	千	恵	議員	4番	古	山	悠	生	議員	
5番	井	上	由	紀	議員	7番	小	久	保	広	信	議員
8番	影	澤	政	夫	議員	9番	高	橋	英	夫	議員	
10番	高	橋		壽	議員	11番	堤		郁	雄	議員	
12番	関	谷	幸	子	議員	14番	山	村		明	議員	
15番	山	田	富	佐	議員	16番	佐	藤	弘	司	議員	
17番	太	田	克	典	議員	18番	我	妻	德	雄	議員	
19番	島	貫	宏	幸	議員	20番	木	村	芳	浩	議員	
21番	相	田	克	平	議員	22番	工	藤	正	雄	議員	

23番 中村圭介 議員

24番 島軒純一 議員

欠席議員（1名）

6番 小島一 議員

出席要求による出席者職氏名

市長	中川勝	副市長	大河原真樹
総務部長	神保朋之	企画調整部長	遠藤直樹
市民環境部長	安部道夫	健康福祉部長	山口恵美子
産業部長	安部晃市	建設部長	吉田晋平
会計管理者	栗林美佐子	上下水道部長	高橋伸一
病院事業管理者	渡邊孝男	市立病院事務局長	和田晋
総務課長	高橋貞義	財政課長	土田淳
政策企画課長	伊藤昌明	教育長	土屋宏
教育管理部長	森谷幸彦	教育指導部長	山口玲子
選挙管理委員会委員長	玉橋博幸	代表監査委員	志賀秀樹
監査委員事務局長	佐藤徹	農業委員会会長	伊藤精司
農業委員会事務局長	宍戸徹朗		

出席した事務局職員職氏名

事務局長	三原幸夫	事務局次長	細谷晃
総務主査	澁江嘉恵	議事調査主査	曾根浩司
主査	堤治		

令和5年3月定例会日程

会期	月日	曜日	開議時刻	会議名	場所	上程・付託			運営
						議案	発議	請願	
1	2/24	金	午前10時	本会議	本会議場	34			市政運営方針説明、議案上程説明
2	2/25	土		休会					
3	2/26	日		休会					
4	2/27	月		休会					(議案調査)
5	2/28	火	午前10時	本会議	本会議場				代表質問
6	3/1	水	午前10時	本会議	本会議場				代表質問、議案付託
7	3/2	木	午前10時	本会議	本会議場	1			一般質問、追加議案上程説明、議案付託
8	3/3	金	午前10時	予算特別委員会	本会議場・委員会室	8			議案審査(補正)
9	3/4	土		休会					
10	3/5	日		休会					
11	3/6	月	午前10時	総務文教常任委員会	委員会室	4			議案審査
12	3/7	火	午前10時	民生常任委員会	委員会室	9			議案審査
13	3/8	水	午前9時30分	議会運営委員会	議長応接室				追加議案の取扱い、日程協議
			午前10時	産業建設常任委員会	委員会室	1			議案審査
14	3/9	木	午前10時	予算特別委員会	本会議場・委員会室	12			議案審査(1、2款)
15	3/10	金	午前10時	本会議	本会議場	1			予算特別委員長報告(補正)、追加議案上程説明、議案付託
			本会議終了後	予算特別委員会	本会議場・委員会室				議案審査(3～5款)
16	3/11	土		休会					
17	3/12	日		休会					
18	3/13	月	午前10時	予算特別委員会	本会議場・委員会室				議案審査(6～8款)
19	3/14	火	午前10時	予算特別委員会	本会議場・委員会室				議案審査(9～13款・歳入)
20	3/15	水	午前10時	予算特別委員会	本会議場・委員会室	1			議案審査(特別・企業会計、補正)
			予算特別委員会終了後	民生常任委員会	委員会室				議案審査
21	3/16	木		休会				(中学校卒業式)	
22	3/17	金		休会					
23	3/18	土		休会				(小学校卒業式)	
24	3/19	日		休会					
25	3/20	月	午前10時	議会運営委員会	委員会室				発議の取扱い、日程協議
26	3/21	火		休会					(春分の日)
27	3/22	水		休会					
28	3/23	木	午前10時	本会議	本会議場				各常任委員長報告、予算特別委員長報告(当初)、発議等

午前10時00分 開会・開議

○相田克平議長 おはようございます。

ただいまの出席議員22名であります。

去る2月16日招集告示されました令和5年3月定例会はここに成立いたしました。

ただいまから令和5年米沢市議会3月定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の会議は議事日程第1号により進めます。

.....

日程第1 会議録署名議員の指名

○相田克平議長 日程第1、会議録署名議員の指名であります。会議規則第88条の規定により指名いたします。

4番 古山悠生 議員

9番 高橋英夫 議員

18番 我妻徳雄 議員

以上3名の方をお願いいたします。

.....

日程第2 会期の決定

○相田克平議長 次に、日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期を本日から3月23日までの28日間と定めたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 御異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は本日から3月23日までの28日間と決定いたしました。

.....

日程第3 諮問第1号人権擁護委員候補者の推薦について

○相田克平議長 次に、日程第3、諮問第1号人権擁護委員候補者の推薦についてを議題といたします。

この場合、市長から提案理由の説明を求めます。
中川市長。

〔中川 勝市長登壇〕

○中川 勝市長 おはようございます。

ただいま上程になりました諮問第1号人権擁護委員候補者の推薦について説明いたします。

人権擁護委員の荒井芳美氏、小形憲治氏及び後藤美智子氏は来る6月30日にその任期が満了となりますが、その後任委員の候補者について、山形地方法務局から推薦の依頼がありましたので、引き続き荒井芳美氏及び小形憲治氏を、新たに佐藤美香氏を人権擁護委員候補者として推薦することについて、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を求めるため提案するものであります。

何とぞ御同意賜りますようお願い申し上げ、提案理由の説明といたします。

○相田克平議長 ただいまの市長説明に対し御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 質疑を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

諮問第1号に同意することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 御異議なしと認めます。

よって、諮問第1号は同意することに決まりました。

.....

日程第4 令和5年度市政運営方針の説明

○相田克平議長 次に、日程第4、令和5年度市政運営方針の説明を求めます。中川市長。

〔中川 勝市長登壇〕

○中川 勝市長 令和5年市議会3月定例会の開会に当たり、私の市政運営に関する所信の一端と新年度の予算概要及び主要施策について御説明申し上げます。

平成27年の市長選挙におきまして、市民の皆様への負託を受け、市政をお預かりしてから2期8年目を迎えました。この間、市民の命と生活を守ることを最大の使命として捉え、邁進してまいりました。特に、この3年間は新型コロナウイルス感染症の対応に迫られたほか、昨年は、ロシアによるウクライナ侵略や円安の影響による原油・原材料価格の上昇とそれに伴う物価高騰に加え、8月3日からの記録的な豪雨に本地域が襲われ、大変厳しい年であったと感じております。今後も市民生活と地域経済を守り抜くため、生活者・事業者支援等を継続するとともに、国や県の支援の下、災害の早期復旧に向け、引き続き全力を挙げて取り組んでまいります。

このような状況においても、昨年は、3年ぶりとなる米沢上杉まつりの開催をはじめ、世界農業遺産の認定を目指す紅花の普及促進に向けた「最上川源流よねざわ紅花プロジェクト」の本格始動、米沢市版DMO「米沢観光推進機構」の設立等、本市の地域資源を生かした取組を進めることができましたことは大変喜ばしく、ポストコロナに向け、将来を見据えた明るい一歩を踏み出せたものと思います。

本市が今後も持続的に発展するためには、今こそ一人一人の力を結集し、市民の皆様が住んでよかったと思えるまちづくりを成し遂げることが必要です。このまちの全ての「ひと」が安心して暮らし、学び育み、手を取り合い、まちをつくり上

げる新しい米沢の未来に向け、新年度は3つの重点的な取組を推進してまいります。

1つ目は、「ひとの安心な暮らし」です。

誰もが安心して子育てできるよう、10月には屋内遊戯場を併設した子育て世代活動支援センターの開館を予定しており、天候にかかわらず子供たちが伸び伸びと体を動かし、親子等が交流できる施設が完成します。

また、11月には、三友堂病院と一体的な建設を進めてきた米沢市立病院が開院します。公立病院と民間病院が各経営体を維持しつつ合築する国内初の事例であり、官民が機能分化・医療連携をすることで、高度化・多様化する医療に対応し、誰もが充実した医療を受けられる体制を構築します。

さらに、市の重要事業として県に長年要望してきた国道287号米沢北バイパスが年内に開通する見通しとなっており、冬期間の交通渋滞の緩和等が期待されます。今後も、圏域内のネットワーク強化と地域間交流を促す国道287号米沢川西バイパスの早期完成に加え、開院する新病院へのアクセス向上を図る都市計画道路万世橋成島線の早期着工について、関係機関に強く働きかけてまいります。

これらの取組により、「ひと」が安心して暮らせる住みよいまちづくりを実現してまいります。

2つ目は、「ひとの育成・参画」です。

人口減少が急速に進行する中、地域を活性化するためには、多様な人材を育成し、活躍を後押しすることで、地域課題を解決することが重要になります。新年度は、国の地域力創造アドバイザー制度を活用した地域づくり人育成塾を実施し、将来を担う若手人材を育成します。

また、最上川源流よねざわ紅花プロジェクトにおいては、小中学生の紅花体験事業をはじめ、学生や市内企業による新商品の開発や紅花染めによる米沢織の振興等の取組を実施し、多くの「ひと」を巻き込みながら、紅花文化を生かした地域づくりを行います。

さらに、米沢市版DMOにおいては、観光DXを推進し、集積した観光情報の分析結果を域内の事業者と共有しながら、戦略的に観光振興に取り組んでいく体制を整え、地域が一体となり稼ぐ力を高めていきます。

あわせて、旧東町エリアでは、行政、まちづくり会社、町内会等で構成する「東町プラットフォーム」において、地域住民や訪れる方々が交流、滞留する仕組みを構築するための社会実験を行うなど、地域の価値や魅力を高める取組を進めます。

本市の様々な地域資源をまちづくりに生かすため、若い世代の皆様にも積極的に参画していただくことで、地域内にイノベーションを生み出し、活気と活力を創出してまいります。

3つ目は、「ひとのつながり」です。

本市は内閣府からSDGs未来都市に選定されており、一人一人が手を取り合い、持続可能な都市を築くことが求められています。米沢ブランド戦略事業では、ブランディングを行う企業等に寄り添う伴走型支援に新たに取り組むことで、「もの」、「ひと」、「こと」全てのブランド化を加速させます。

また、誰もが健康で明るく元気に生活することができるよう、健康長寿日本一を目指す取組として、市民の健康促進を応援する事業者や関係機関を登録する「よねざわ健康長寿応援団」を設け、健康づくりを推進するための環境を整備します。

一方、市内に目を向けるだけにとどまらず、世界の人々とのつながりを意識することも重要です。ゼロカーボンシティに向けた施策やウクライナから本市に避難された方の生活支援等を通し、かけがえのない地球に暮らす一員としての役割を果たしてまいります。

「ひと」が考え、「ひと」が動き、「ひと」が進む、その先に新しい米沢の未来はあります。今を生きる私たち一人一人が先人より受け継がれる伝統を胸に、本市の誇るべき自然、歴史、文化、産業等を最大限に活用し、全ての「ひと」が安心

して住み続け、関わり合い、つながりながら発展していく内発型の成長に結びつけ、持続可能なまち米沢を全身全霊でつくり上げてまいります。

次に、新年度に向け編成した予算案の概要について御説明申し上げます。

新年度の一般会計予算総額は、対前年度当初予算比で1億7,000万円、0.4%減の406億2,000万円を計上しました。前年度よりも減となっておりますが、令和2年度から4年連続で400億円を超える予算規模となっております、過去3番目となった今年度に続いて4番目に多い予算額であります。

歳入歳出それぞれについて御説明申し上げますと、歳入におきましては、今年度の収入見込額や景気動向等を勘案して、市税や地方消費税交付金の増収を見込みつつ、国・県支出金の確保や元利償還金の一部が地方交付税で措置される有利な地方債の活用等で財源確保を図るとともに、歳出におきましては、コロナ禍における物価高騰対策等に引き続き取り組み、第4期実施計画に掲げた施策を着実に推進していくために必要な事業費を計上したところであります。

また、特別会計では、8会計の合計で約188億6,800万円、企業会計は、3会計の合計で約253億9,300万円を計上しました。

次に、新年度に取り組む主な施策について、まちづくり総合計画の基本目標の柱に沿って御説明申し上げます。

初めに、挑戦し続ける活力ある産業のまちづくりについて申し上げます。

商工業につきましては、本市経済と雇用を支える中小企業の経営基盤の安定を図るほか、新たな活力と雇用機会を創出するため、創業の支援や研究開発型の企業誘致に取り組むとともに、新産業団地の整備に向けた検討を進めます。また、令和7年度の新産業高校開校に向け、高校生の地元定着につながる人材育成の取組等を支援し、若者の地元就職を促進します。さらに、去る1月末に、国と国内20産地33自治体が共同で繊維産地サミッ

ト宣言を行いました。東北地方の市町村で唯一参加した本市においては、情報発信等を通して繊維産地としての一層のブランド化を推進します。

観光については、ポストコロナに向けた観光推進のため、置賜地域や隣県との広域連携等を強化するほか、「西吾妻山×天元台高原×白布温泉エリアリボンプロジェクト事業」を継続し、エリア内のにぎわい創出と人材育成を図ります。また、4年前まで松川河川敷で開催されていた花火大会を再開し、音楽と融合した花火等を取り入れ、これまでより規模を拡大して開催します。さらに、国際交流員を活用して外国人の視点による観光情報の発信を行うなど、インバウンドについて取組を拡大するとともに、新たにアニメツーリズム事業を展開し、国内外からの誘客を図ります。

農林業については、親元就農を含めた新規就農者への支援を充実させるほか、オーガニックビレッジ宣言を契機として、有機農業実践者の増加と栽培面積の拡大を図るとともに、畜産においては、米沢牛のブランド力向上や畜産農家の経営基盤強化を図ります。また、電気柵設置による防除やICT活用による捕獲等に努め、鳥獣害に強い地域を目指してまいります。さらに、住宅等への地元木材の利用を拡大させるとともに、（仮称）南西中学校の建設において市有林の間伐材を活用する準備に取りかかり、地域林業の再生と森林整備の推進を図ります。

次に、郷土をつくる人材が育つ、教育と文化のまちづくりについて申し上げます。

学校教育につきましては、4月に三沢東部小学校と三沢西部小学校が西部小学校と統合することから、子供たちが安心して学校生活を送れるよう通学等の支援に取り組むほか、統合中学校及び広幡・六郷・塩井の統合小学校開校に向けた準備を進めるとともに、（仮称）南西中学校の学校施設を整備します。また、安全安心な学校給食提供と持続可能で効率的な給食運営を目指し、PFI方式での共同調理場の整備を推進し、食育や地産地

消の充実に向けて取り組みます。

社会教育については、米沢鷹山大学を引き続き支援するとともに、地元高等教育機関等と連携した事業を展開し、生涯学習の充実を図ります。

文化の振興については、国指定史跡上杉治憲敬師郊迎跡保存修理工事を継続するなど、文化財の保存と活用を進めるほか、市民ギャラリーや芸術創作活動施設「芸術の杜」を中心とした文化活動の支援を行い、市民が優れた文化芸術に触れる機会の充実を図ります。また、本年が本市名誉市民である我妻榮氏の没後50年に当たることから、同氏を顕彰する記念事業を開催いたします。

スポーツ振興につきましては、健康マイレージと連携した米澤上杉城下町マラソンやFUN+WALK推進事業により、スポーツ参画人口を増加させるほか、市営弓道場の屋根改修をはじめとした体育施設の修繕等を行います。また、第2期スポーツ推進計画を策定し、スポーツを通じた元気なひとづくりを目指してまいります。

学園都市につきましては、山形県公立大学法人への補助を新設し、地域との連携を推進するほか、学園都市推進協議会を中心に、学生生活を応援するとともに地域交流の促進を図るなど、ホームタウン化に向けた取組を進めます。

次に、子育てと健康長寿を支えるまちづくりについて申し上げます。

子育て支援につきましては、産後ケア事業に新たに通所型を導入するなど、伴走型支援を充実させるとともに、妊婦等に対し、国の交付金を活用した経済的支援を行い、誰もが安心して出産・子育てできる環境を整備します。また、新たに訪問支援員による家事・育児支援を行い、ヤングケアラー等の様々な事情を抱える家庭に対する支援の充実を図ります。

健康長寿の推進については、米沢市民健康づくり運動計画を組み入れた健康長寿日本一推進プランを策定するとともに、関係機関と連携しながら、重点的に運動、健診受診率の向上、減塩の取組を

進めてまいります。

高齢者福祉につきましては、保健事業と介護予防の一体的事業を拡充し、重症化予防と虚弱状態の改善に向けたプログラムを包括的に行います。また、高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画を策定し、高齢者福祉と介護保険の充実を目指します。

地域福祉については、生活困窮者への自立・就労支援対策を継続するほか、第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画を策定し、障がい福祉サービスや地域生活支援拠点の充実を図ります。さらに、高齢者や子供、障がい者等の属性を問わず誰もが安心して暮らすことができる共生社会の実現に向け、関係機関等との連携を図り、地域との関わりを深めることにより、重層的な支援体制の仕組みづくりの検討を進めてまいります。

医療環境につきましては、市立病院と三友堂病院による地域医療連携推進法人の設立を行うほか、急性期医療の維持・強化のため、奨学資金貸付制度等の活用や院内保育所による夜間保育の実施により、医療人材の確保に努めます。

次に、自然と都市の魅力が調和し、賑わいと交流を促すまちづくりについて申し上げます。

都市政策につきましては、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画に基づき、都市構造再編集集中支援事業を継続し、コンパクトなまちづくりを推進します。

住環境の整備については、市営住宅等の効率的な施設改善を図るほか、住宅確保要配慮者に対するセーフティーネット機能を強化するため、賃貸住宅供給事業を拡大します。また、空き家の除却・利活用に対する支援を継続するなど、空き家対策を総合的に行います。

公共交通については、市街地を運行するバス路線の経路見直しを検討するほか、郊外の地域では地域に合った交通モードの検討・導入を進めるとともに、バス待合環境の改善や米沢駅の案内サイン改良等に取り組みます。

上水道については、老朽化した舘山浄水場を廃止し、県企業局笹野浄水場からの受水量を増量するため、舘山配水区の受水施設を整備する事業を継続するほか、重要給水施設までの配水管の耐震化を計画的に推進し、水道水の安定供給に努めてまいります。

下水道については、米沢・南陽の2つのし尿処理施設の廃止に向け、米沢浄水管理センター内にし尿受入施設を整備する事業を継続し、効率的で安定した事業経営を推進します。

環境対策については、ゼロカーボンシティの実現に向け、地球温暖化対策実行計画を見直すほか、エネルギーの地産地消を図るため、地域の新電力会社と連携し、公共施設への再生可能エネルギー供給に向けた取組を推進します。また、プラスチックの河川流出防止とごみの排出量削減を推進するため、効果的な情報発信やごみ拾いイベント等を行い、循環型社会の実現を目指してまいります。

次に、安全安心に暮らせるまちづくりについて申し上げます。

災害対策につきましては、昨年8月3日からの記録的な豪雨により道路や橋梁が被害を受けたため、その復旧に向けた事業に取り組んでまいります。また、災害時の情報伝達体制を強化するため、避難行動要支援者で希望する世帯に緊急告知ラジオを無償貸与するほか、避難行動要支援者の個別避難計画の策定を推進します。さらに、地域防災力の中核である消防団を強化するため、軽資機材搬送車等を計画的に配備します。

消費者行政につきましては、ライフステージに応じた消費者教育を継続して実施するとともに、ひと・地域・社会・環境に配慮したエシカル消費の普及啓発に努めます。

雪対策については、除雪オペレーターの育成を行う除排雪業者への経費補助等を引き続き行い、市民が冬期間でも安心して暮らせる雪に強いまちを目指してまいります。

次に、持続可能なまちづくりについて申し上げます。

ます。

ICTの活用については、各部署で管理している地理情報システムを統合するとともに、一部データを一般公開し、効率的な運用・管理と行政サービスの向上を目指します。また、マイナンバーカードについては、取得が難しい方が申請しやすい環境を確保するほか、コンビニ交付サービスの利用拡大を図ります。さらに、デジタル技術を活用した市民の利便性向上や行政事務の効率化を検討しながら、（仮称）デジタル田園都市国家構想総合戦略を策定します。

移住の促進につきましては、移住者が暮らしやすい住まいや就労等の情報を総合的に案内できるよう関係機関と連携するほか、新たに移住コーディネーターの配置や米沢駅コワーキングスペースを活用した移住相談を行います。

地域活動の拠点となるコミュニティセンターにつきましては、令和8年度の開館に向け、塩井及び広幡コミュニティセンターの建替事業を推進するとともに、避難所における良好な生活環境を確保するため、ホールに空調が整備されていないコミュニティセンターについて、計画的に設備を導入します。

健全な行政経営につきましては、効果的かつ効率的な事業展開を行うため、まちづくり総合計画第5期実施計画を策定するほか、ふるさと応援寄附金制度の推進による財源確保を図ります。また、人口ビジョンの見直しに際してアンケートを実施し、定住・就労等に関する意向を捉え、今後、様々な施策に反映することで、人口減少対策を進めてまいります。

広域連携については、置賜地域内の連携を強化するため、第2次置賜定住自立圏共生ビジョンを策定し、共通する行政課題の解決に向けた取組を行います。

市長に就任した際に、私は、市長としての任期を2期8年とする公約に基づき、条例を制定いたしました。そして、市勢のさらなる発展のため、

人口減少や財政健全化等、山積する課題に誠心誠意、向き合っていました。

かつて米沢藩を治めた上杉鷹山公は、米沢織をはじめとする産業振興、コイの養殖や医学校設立による健康福祉の充実、ウコギの奨励や農業用の水路整備による災害への備え、学問振興による人材育成等を成し遂げ、その功績は国内外からたたえられ、市内ではNHKの大河ドラマ化に向けた運動も始まっております。

この鷹山公の藩政改革は、経済・社会・環境の3つの側面を調和させたSDGsの先駆けと言えるものです。私は、これまで道の駅米沢の開業や米沢ブランド戦略事業の推進、地域医療連携や健康長寿日本一に向けた取組、防災拠点となる新庁舎・コミュニティセンターの整備、ゼロカーボンシティに向けた施策等、3つの側面それぞれに様々な施策を進めてまいりました。それが今、形になってきていると感じております。そのような環境の中、新たに若い世代による地域づくりが始まっております。学園都市にふさわしい学生による地域貢献活動も活発になり、次代を担う若者を育成し、活躍を後押ししていくことは、市政を預かる私の責務であると感じております。

草木が芽吹く季節が今年も訪れます。市民の皆様と共にまいたまちづくりの種は、このまちに根づき、美しい花々となって咲き誇るでしょう。米沢に暮らし、米沢を支える全ての「ひと」、これこそが何物にも代え難いまちの宝であることを私は信じております。まちづくりはひとづくりとも言われますが、果敢な挑戦と創造の連鎖により、本市の誇るべき地域資源を最大限に活用し、持続可能で一人一人が輝くまち米沢をつくり上げていくため、最後まで全力を尽くす覚悟であります。

議員各位をはじめ、市民皆様の温かい御理解と御協力を心からお願い申し上げます、市政運営方針といたします。

○相田克平議長 ただいまの市長説明に対する代表質問は2月28日から行います。

改正について説明いたします。

本案は、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行うため提案するものであります。

次に、議第11号米沢市高齢者等生活支援条例の一部改正について説明いたします。

本案は、生活援助員の派遣を受けた利用者から徴収する手数料の算定方法を変更するため提案するものであります。

次に、議第12号米沢市避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例の設定について説明いたします。

本案は、災害対策基本法に基づき、避難行動要支援者の名簿をあらかじめ避難支援等関係者に提供できるよう必要な事項を定めるため提案するものであります。

次に、議第13号市道中山街道線上屋敷橋撤去に伴う仮設工事請負契約の一部変更について説明いたします。

令和4年9月定例会で契約の締結が議決され、現在施工しております市道中山街道線上屋敷橋撤去に伴う仮設工事について、被災橋梁の健全度調査を実施した結果、2径間を仮支えすることで安定させることが可能であると確認できたため、支持ぐいの本数及び下部工架設の資材が減工したことなどに伴い、契約金額を3億1,680万円から2億7,003万4,600円に4,676万5,400円を減額し、契約を変更いたしたく提案するものであります。

次に、議第14号から議第21号までの補正予算8案件について説明いたします。

まず、議第14号令和4年度米沢市一般会計補正予算(第10号)は、事業費の確定に伴う精算やふるさと応援寄附金の返礼品費などに要する経費として2,304万6,000円を増額補正しようとするものであり、この結果、補正前と合わせた一般会計の予算総額は453億6,241万1,000円となります。

その主な内容としましては、ふるさと応援寄附金制度推進事業費や地域総合整備資金貸付事業費、

道路橋りょう災害復旧事業費などの増額補正のほか、各事業費の精算補正やそれに伴う国県支出金、地方債などの特定財源の精算補正をしようとするものであります。一般財源の補正につきましては、市税や普通交付税などの増額補正のほか、財政調整基金繰入金の減額補正をしようとするものであります。あわせて、繰越明許費につきましては、17件の追加とともに1件の変更をしようとするものであり、債務負担行為については、2件の追加をしようとするものであります。

次に、特別会計であります。議第15号令和4年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)は、一般被保険者療養費などの増額補正をしようとするものであり、議第16号令和4年度米沢市後期高齢者医療費特別会計補正予算(第2号)は、後期高齢者医療保険料等負担金の増額補正をしようとするものであり、議第17号令和4年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)は、事業費の精算補正のほか、介護保険給付基金積立金の増額補正をしようとするものであり、議第18号令和4年度米沢市青果物地方卸売市場費特別会計補正予算(第1号)は、事業費の精算補正をしようとするものであります。

次に、企業会計であります。議第19号令和4年度米沢市水道事業会計補正予算(第2号)は、消費税及び地方消費税の増額補正などをしようとするものであり、議第20号令和4年度米沢市下水道事業会計補正予算(第1号)は、一般会計負担金の精算補正のほか、処理場改築事業に伴う資産減耗費の増額補正などをしようとするものであり、議第21号令和4年度米沢市立病院事業会計補正予算(第2号)は、新病院建設事業に係る企業債及び建設改良費の増額補正のほか、これに伴う継続費総額の変更とともに、一般会計負担金の精算補正などをしようとするものであります。

次に、議第22号から議第33号までの令和5年度各会計予算につきましては、さきに市政運営方針でその概要を申し上げましたので、その説明は省

略させていただきます。

以上、提案いたしました各議案につきまして、
よろしく御審議の上、御賛同賜りますようお願い
申し上げます、提案理由の説明といたします。

○相田克平議長 ただいまの市長説明に対する代表
質問は2月28日から行います。

.....

散 会

○相田克平議長 以上をもちまして本日の日程は終
了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。

午前10時50分 散 会

